

「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 9 日

事業名称		高齢者日常生活支援事業費〔在宅ねたきり高齢者おむつ貸与・支給事業〕									
予算科目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	3	老人福祉費	事業番号	4
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	高齢介護 課 高齢福祉					係	課長名		伊野宮 崇		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 2		
【施策名】 高齢者保健福祉の推進								総合計画書 (ページ)	51		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 ・市内に住所を有する65歳以上の在宅ねたきり高齢者であり、失禁状態である者 ・上記のほか、市長が必要と認めた者					→		① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 市内65歳以上の高齢者数(令和2年4月1日現在)			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ①介護者の負担を軽減し、在宅生活を維持、継続している ②衛生状態が向上している					→		② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 支給者数			
	③ そのために何をしましたか。 在宅の寝たきり高齢者におむつの貸与及び支給を行った。 支給の流れについては、まず、担当区域の高齢者ほっと支援センターの職員が自宅に訪問して身体状況を確認。同センターによる申請代行を受けて、市が貸与・支給を決定する。そして、委託業者が毎月1回、対象者宅を訪問し、おむつを配達する。					→		③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 支給者数			
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績		令和3年度目標		令和4年度目標	
	対象指標	①の数値	人	22,711	22,902	23,062					
	成果指標	②の数値	人	176	183	178					
	目 標	②の目標値	人			183		178		178	
目標値設定の考え方 高齢者世帯への日常(在宅)生活の支援を図るため、前年度実績を目標に設定した。											
3 経費	事業費(実績)		円	5,773,740	5,743,696	6,621,032		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	5,773,740	5,743,696	6,621,032					
		特定財源(国・都・他)	円								
		(うち受益者負担)	円								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.20	0.20	0.2					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	1,648,800	1,662,000	1,676,000					
職員人件費(再任用)		円	0	0							
事業費+人件費		円	7,422,540	7,405,696	8,297,032						
4 環境変化等	(1) 開始年度 昭和60 年度										
	(2) 環境の変化 高齢化の進行に伴い、開始当初と比べて、利用者数は増加した。										

事業名称	高齢者日常生活支援事業費〔在宅ねたきり高齢者おむつ貸与・支給事業〕			
担当部署・課長名	高齢介護	課	高齢福祉	係 課長名 伊野宮 崇

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ	取組手法：		
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 特になし			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 特になし			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 利用者数が増加し、財政をひっ迫させていることから所得制限を設ける等の利用者抑制策が必要と考えられる。			
	8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 高齢者保健福祉の推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
	9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 事業の見直しを検討する必要がある。方向性としては現状維持であるが、状況次第で縮小等の検討も行う。		
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
現在、事業を実施している他市の状況について、事業内容の把握に努める。				